



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年1月31日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4512 URL <http://www.wakamoto-pharm.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 信行 (TEL) 03-3279-0371
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 増田 康彦 配当支払開始予定日 -
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,184	0.3	△368	—	△160	—	△200	—
23年3月期第3四半期	7,164	△4.0	△726	—	△576	—	△422	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △126百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △491百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△5.77	—
23年3月期第3四半期	△12.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	16,927	12,037	71.1
23年3月期	17,176	12,164	70.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 12,037百万円 23年3月期 12,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,580	△0.9	△545	—	△320	—	△270	—	△7.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名） 、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	34,838,325株	23年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	42,030株	23年3月期	31,391株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	34,802,740株	23年3月期3Q	34,551,097株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、また、一般用医薬品市場も低迷が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあつて当社グループの医薬事業では、主力製品である「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」、「ゼベリン点眼液0.1%」等の眼科領域製剤の販売促進に加え、緑内障・高眼圧症治療点眼後発薬として一昨年5月に「ラタノプロスト点眼液0.005%わかもと」を、一昨年11月に「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」を、また眼科手術補助剤として一昨年12月に「マキユエイド硝子体内注用40mg」を発売し、普及活動に注力いたしました。

薬粧事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、薬用歯磨き（医薬部外品）「アバンビーズ」シリーズとして、「アバンビーズ シトラスミント味」「アバンビーズ ラ・フランスミント味」「アバンビーズ ワイルドミント味」「アバンビーズ ダンプランシュ」「アバンビーズ コーラルε（イブシロン）」の5製品を昨年3月にリニューアル新発売いたしました。

特販事業では、海外向けに「わかもと」、乳酸菌及び点眼剤を、国内向けに医薬品原料の販売と他社受託品の製造販売に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は71億8千4百万円（前年同期比0.3%増）、営業損失3億6千8百万円（前年同四半期は営業損失7億2千6百万円）、経常損失は1億6千万円（前年同四半期は経常損失5億7千6百万円）、四半期純損失は2億円（前年同四半期は四半期純損失4億2千2百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

医薬事業では、新発売の「ラタノプロスト点眼液0.005%わかもと」、「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」及び「マキユエイド硝子体内注用40mg」が売上に寄与しましたが、主力製品の「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」が減少いたしました。その結果、売上高は41億9千6百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

薬粧事業では、主力製品の「強力わかもと」がほぼ横ばいに推移し、「アバンビーズ」シリーズが売上に寄与した結果、売上高は15億2千6百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

特販事業では、海外向け「わかもと」、同じく海外向け点眼剤が増加いたしました。その結果、売上高は14億2千1百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間末における総資産は、169億2千7百万円となり前連結会計年度末比2億4千9百万円（1.5%減）の減少となりました。流動資産は80億8千4百万円となり1億4千9百万円（1.8%減）の減少、固定資産は88億4千3百万円となり9千9百万円（1.1%減）の減少となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、受取手形及び売掛金が減少したことが主たる要因であり、固定資産が減少いたしましたのは、工場設備等の減価償却により、有形固定資産が減少したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、48億8千9百万円となり前連結会計年度末比1億2千2百万円（2.4%減）の減少となりました。流動負債は20億3千7百万円となり2億7千6百万円（11.9%減）の減少、固定負債は28億5千2百万円となり1億5千4百万円（5.7%増）の増加となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、支払手形及び買掛金が減少したことが主たる要因であり、固定負債が増加いたしましたのは、長期借入金が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、120億3千7百万円となり前連結会計年度末比1億2千6百万円（1.0%減）の減少となりました。利益剰余金が減少したことが主たる要因であります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の70.8%から71.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

医薬事業では、主力製品の「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」等の売上が予想を下回り、また薬粧事業では、「アバンビーズ」シリーズの売上が予想を下回る見込みとなりましたこと、また税法改正による繰延税金資産の取崩額が発生しましたことから売上高・営業利益・経常利益・当期純利益の公表値を下方修正いたします。

同日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」（連結・個別）を発表しております。

なお、平成23年10月21日の業績予想の修正に関するお知らせで発表いたしました連結業績予想との差異は以下の通りです。

(連結)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,720	△430	△210	△140	△4.02
今回修正予想 (B)	9,580	△545	△320	△270	△7.76
増減額 (B - A)	△140	△115	△110	△130	—
前期実績	9,669	△755	△568	△425	△12.30

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。
- (4) 追加情報

法人税率の変更による影響

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が公布されたことにより、平成24年4月1日以降開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異に係る繰延税金資産及び繰延税金負債の計算における法定実効税率については、従来の40.7%に代えて平成24年4月1日から平成27年3月31日までの間に開始する事業年度に解消が見込まれる場合は38.01%を平成27年4月1日以降開始する事業年度に解消が見込まれる場合は35.64%を適用しております。これにより繰延税金資産（流動）の金額が14,802千円減少し、繰延税金資産（固定）の金額が91,469千円減少し、当四半期純損失が103,376千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,222,576	1,159,492
受取手形及び売掛金	3,956,058	3,814,236
有価証券	405,364	405,621
商品及び製品	1,336,120	1,396,088
仕掛品	335,759	373,912
原材料及び貯蔵品	537,121	552,888
未収還付法人税等	3,064	—
繰延税金資産	286,011	235,709
その他	152,027	146,253
流動資産合計	8,234,104	8,084,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,339,056	3,235,575
機械装置及び運搬具（純額）	1,704,421	1,475,719
土地	393,736	400,195
建設仮勘定	157,696	61,912
その他（純額）	125,139	87,848
有形固定資産合計	5,720,050	5,261,251
無形固定資産		
特許実施権	—	300,000
借地権	67,707	51,277
ソフトウェア	33,199	33,967
その他	6,143	6,068
無形固定資産合計	107,050	391,313
投資その他の資産		
投資有価証券	1,425,371	1,519,001
保険積立金	725,298	783,128
繰延税金資産	884,076	807,791
その他	80,997	80,927
投資その他の資産合計	3,115,744	3,190,850
固定資産合計	8,942,845	8,843,415
資産合計	17,176,950	16,927,617

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,206,535	992,298
未払金及び未払費用	452,642	459,504
短期借入金	196,000	296,000
未払法人税等	30,745	15,856
未払消費税等	21,981	6,888
賞与引当金	174,800	68,241
返品調整引当金	7,000	11,000
設備関係支払手形	45,076	44,089
設備関係未払金	151,180	85,769
その他	28,018	57,816
流動負債合計	2,313,979	2,037,464
固定負債		
長期借入金	1,230,000	1,383,000
退職給付引当金	1,297,817	1,319,680
役員退職慰労引当金	165,900	145,900
長期預り金	4,403	3,701
固定負債合計	2,698,121	2,852,281
負債合計	5,012,100	4,889,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	6,124,537	5,925,160
自己株式	△10,306	△12,654
株主資本合計	12,185,944	11,984,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,094	53,653
その他の包括利益累計額合計	△21,094	53,653
純資産合計	12,164,849	12,037,872
負債純資産合計	17,176,950	16,927,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,164,196	7,184,726
売上原価	3,370,521	3,320,627
売上総利益	3,793,674	3,864,099
販売費及び一般管理費	4,519,786	4,233,051
営業損失(△)	△726,112	△368,952
営業外収益		
受取利息	1,077	437
受取配当金	31,667	33,572
受取地代家賃	22,388	19,633
受取技術料	110,571	176,706
その他	35,515	41,018
営業外収益合計	201,221	271,367
営業外費用		
支払利息	21,389	21,562
固定資産除却損	8,472	8,149
寄付金	10,892	15,518
その他	10,574	17,804
営業外費用合計	51,329	63,035
経常損失(△)	△576,220	△160,619
特別利益		
固定資産売却益	—	64,929
役員退職慰労引当金戻入額	—	20,000
本社移転費用引当金戻入額	1,456	—
特別利益合計	1,456	84,929
特別損失		
投資有価証券評価損	34,843	24,058
固定資産除却損	24,700	—
特別損失合計	59,543	24,058
税金等調整前四半期純損失(△)	△634,307	△99,749
法人税、住民税及び事業税	18,265	13,309
法人税等調整額	△230,351	87,894
法人税等合計	△212,085	101,204
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△422,222	△200,953
四半期純損失(△)	△422,222	△200,953

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△422,222	△200,953
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△68,975	74,747
その他の包括利益合計	△68,975	74,747
四半期包括利益	△491,198	△126,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△491,198	△126,205

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,252,089	1,486,922	1,395,061	7,134,072	30,123	7,164,196	—	7,164,196
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	39,593	39,593	△39,593	—
計	4,252,089	1,486,922	1,395,061	7,134,072	69,716	7,203,789	△39,593	7,164,196
セグメント利益又は 損失(△)	△723,398	△7,925	△21,065	△752,388	26,275	△726,112	—	△726,112

(注) 1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、主として不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,196,210	1,526,169	1,421,713	7,144,094	40,632	7,184,726	—	7,184,726
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	1,868	1,868	△1,868	—
計	4,196,210	1,526,169	1,421,713	7,144,094	42,501	7,186,595	△1,868	7,184,726
セグメント利益又は 損失(△)	△363,275	△73,144	45,334	△391,085	22,132	△368,952	—	△368,952

(注) 1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、主として不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。